

勝浦都市計画用途地域の変更理由

本地区は、JR勝浦駅から約800mに位置し、交通の利便性が高いことから、「勝浦市都市計画マスタープラン」において、都市の中心地区にふさわしい賑わいと魅力ある「都市交流拠点」に位置付けられている。

また、現在、千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパスとなっているが、生徒数の減少に伴い、学校の統廃合により平成29年3月に閉校になることが決定され、市では、平成28年6月に「大原高等学校勝浦若潮キャンパス跡地活用基本計画」（以下、「基本計画」という。）を策定した。

この基本計画において、地区の整備方針として、「公共公益機能」「産業振興機能」「子育て支援機能」「地域交流機能・健康増進機能」及び「防災機能」を導入するとしたところである。

こうした都市計画マスタープランや基本計画に基づき、周辺の住環境に配慮しつつ、多様な機能の形成を図るため、用途地域を第一種住居地域から第二種住居地域に変更するものである。